

CHAPTER 4

自転車競技



温泉ライダー in 加賀温泉郷

【競技スタッフ体制】



【スケジュール / 業務内容】

高辻携帯 (090-1638-3780)、増田携帯 (090-1550-9149)

TIME	内容	備考
5:00	コアスタッフ集合→ミーティング	集合→救護テント
6:45		ボランティア駐車場：排水機場南側駐車場 ※到着後、すぐにアローレヘ移動
7:00	立哨員集合～備品受渡し 【集合場所】 本部・ボランティア受付～アローレロビー	受入・出欠確認：WS栗原・星谷
7:45	ミーティング～無線チェック コース配置出発	説明：WS石渡 7:45⇒シャトルバス2台待機
8:00	立哨ポイント配置完了～設営チェック～コース清掃	荷降ろし終了
8:30	交通規制開始	
8:40	コース設営完了	
8:45	【試走開始】	
9:45	【試走終了】 ※9:35試走出発禁止	
9:45	【スタート地点集合時間】	
9:51	【ライダーズミーティング】	まれびと高辻
10:00	【競技スタート】、立哨業務開始	
14:00	【4時間エンデューロ競技終了】	
14:20	立哨業務終了～コース設営物撤収	
14:30	封鎖解除	本部【WS石渡】からの指示で封鎖解除 *封鎖解除後、シャトルバス1台で立哨スタッフを回収します。

【備品一覧】

備品	担当	数
立哨用無線	1.2.3.4.5.6.9.11.13.14.17.18.20.21.22.24.25.27.29 .30.33.36.39.41	24
赤フラッグ	無線と同様	24
黄フラッグ	無線と同様	24
メガホン	全立哨員	40
ドリンク	全立哨員 1人2本ずつ (予備10人分含む)	130

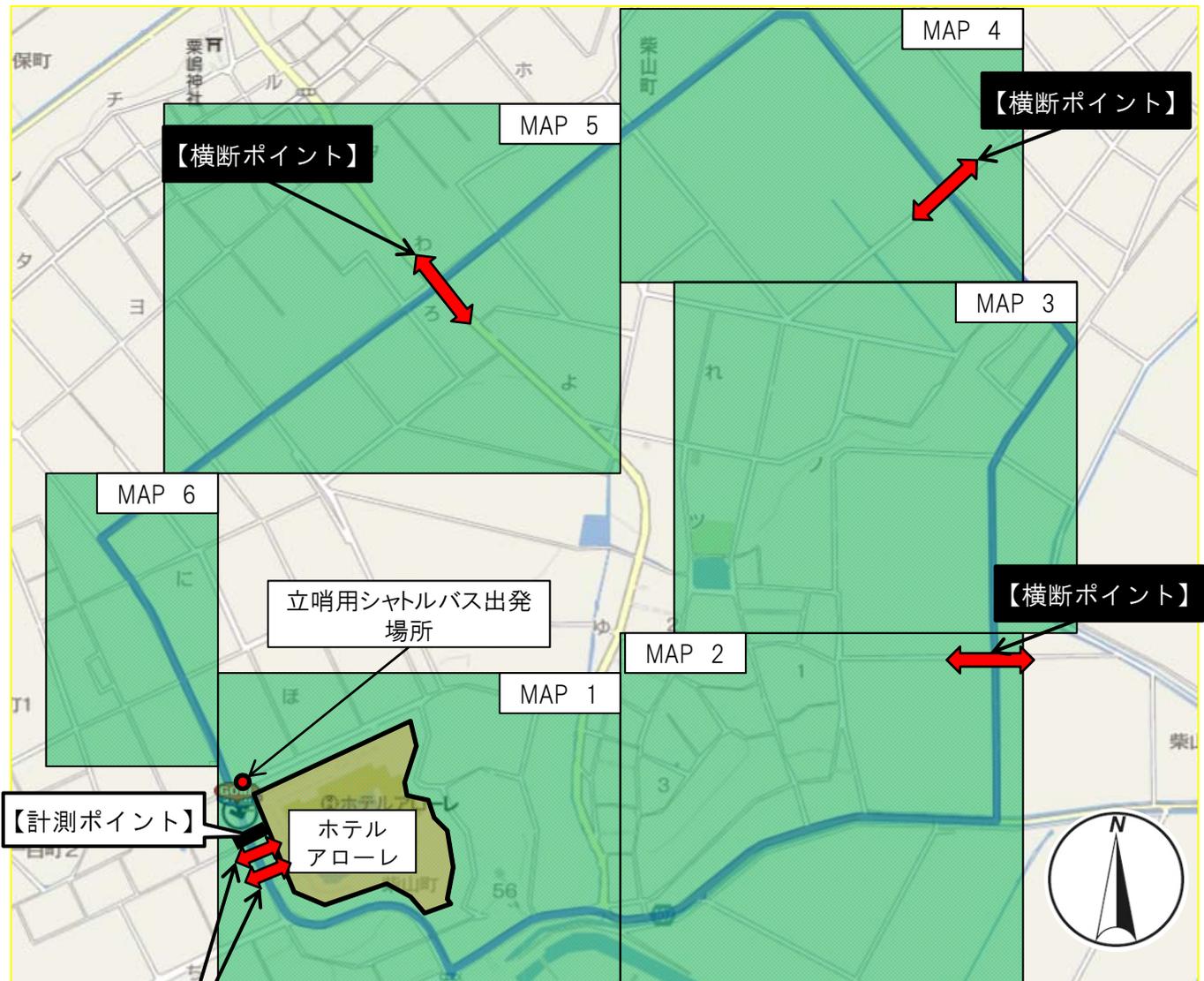
※無線、フラッグに関しては
ご自分の番号の有無を確認して下さい

温泉ライダー in 加賀温泉郷

■ コース全図

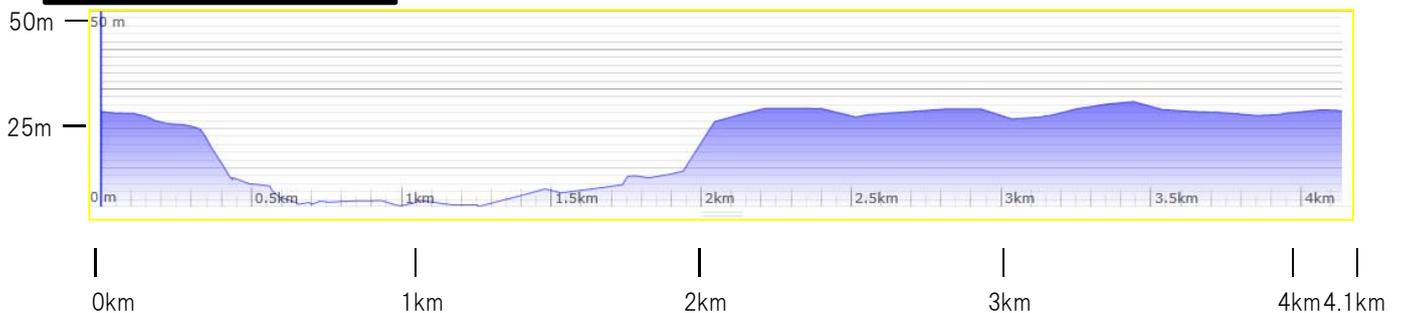
● コース概要

距離：4.1km



【歩行者横断ポイント】

高低図



温泉ライダー in 加賀温泉郷

立哨員配置マップ

● コース概要

距離：4.1km
標高差：27m

● 立哨ポイント合計：41

- ① 無線・フラッグあり：24名
- ② 無線・フラッグなし：17名



【救護体制】

○立哨員40付近で待機する。医師・看護師は救護本部に常駐し、救護スタッフは立哨7・22・31に自転車に乗って待機し、コース上の各所で救護対応を行う。

○コースに入る場合、救護車も救護スタッフも順路に従い走行する。

温泉ライダー in 加賀温泉郷

立哨員配置方法

● コース概要

距離：4.1km

標高差：27m

● 立哨ポイント合計：41

① 無線・フラッグあり：24名

② 無線・フラッグなし：17名



【立哨員配置方法(7:45)】

○立哨ポスト1～7、38～41は徒歩で担当ポストに向かう。

○立哨ポスト8～23はアローレに待機しているシャトルバス①に乗り込み配置に向かう。

○立哨ポスト37～24はアローレに待機しているシャトルバス②に乗り込み配置に向かう。

■立哨員交代方法(1～20ポスト)



【交代方法】

- 立哨員を60名を20名ずつの3グループ(A・B・C)に分け、1時間20分おきに約半数の20名の立哨員が交代しながら4時間立哨業務を行う。

担当時間	A	B	C
10:00～11:20	○(ポスト1～20)	○(ポスト21～41)	休憩
11:20～12:40	休憩	○(ポスト21～41)	○(ポスト1～20)
12:40～14:00	○(ポスト21～41)	休憩	○(ポスト1～20)

【AからCへの交代(11:20分頃)】

- 立哨グループCは11:15に立哨ポスト40付近に集合
※立哨輸送車両は普通乗用車を使用

・立哨ポスト1～7

- 立哨ポスト1～7は各ポストまで徒歩で移動し交代をする。交代した立哨グループAのメンバーは会場に徒歩で戻る。

・立哨ポスト8～13

- 立哨ポスト8～13は集合場所から出発する立哨員輸送車両に乘車。☆地点で下車し、担当ポストまで徒歩で移動する。交代した立哨グループAのメンバーは☆地点で待機している立哨員輸送車両に乘車し会場に戻る。

・立哨ポスト14～17

- 立哨ポスト14～17は集合場所から出発する立哨員輸送車両に乘車。□地点で下車し、担当ポストまで徒歩で移動する。交代した立哨グループAのメンバーは□地点で待機している立哨員輸送車両に乘車し会場に戻る。

・立哨ポスト18～20

- 立哨ポスト18～20は集合場所から出発する立哨員輸送車両に乘車。△地点で下車し、担当ポストまで徒歩で移動する。交代した立哨グループAのメンバーは△地点で待機している立哨員輸送車両に乘車し会場に戻る。



立哨交代車両の下車・乗車場所にのほりを設置します。

■立哨員交代方法(21～41ポスト)



【交代方法】

- 立哨員を60名を20名ずつの3グループ(A・B・C)に分け、1時間20分おきに約半数の20名の立哨員が交代しながら4時間立哨業務を行う。

担当時間	A	B	C
10:00～11:20	○(ポスト1～20)	○(ポスト21～41)	休憩
11:20～12:40	休憩	○(ポスト21～41)	○(ポスト1～20)
12:40～14:00	○(ポスト21～41)	休憩	○(ポスト1～20)

【BからAへの交代(12:40分頃)】

- 立哨グループAは12:35に立哨ポスト40付近に集合
※立哨輸送車両は普通乗用車を使用

・立哨ポスト33～41

- 立哨ポスト33～41は各ポストまで徒歩で移動し交代をする。交代した立哨グループBのメンバーは会場に徒歩で戻る。

・立哨ポスト21～25

- 立哨ポスト21～25は集合場所から出発する立哨員輸送車両に乗り。☆地点で下車し、担当ポストまで徒歩で移動する。交代した立哨グループBのメンバーは☆地点で待機している立哨員輸送車両に乗りし会場に戻る。

・立哨ポスト26～28

- 立哨ポスト26～28は集合場所から出発する立哨員輸送車両に乗り。□地点で下車し、担当ポストまで徒歩で移動する。交代した立哨グループBのメンバーは□地点で待機している立哨員輸送車両に乗りし会場に戻る。

・立哨ポスト29～32

- 立哨ポスト29～32は集合場所から出発する立哨員輸送車両に乗り。△地点で下車し、担当ポストまで徒歩で移動する。交代した立哨グループBのメンバーは△地点で待機している立哨員輸送車両に乗りし会場に戻る。



【無線/設営チェック】 (8:00)

○無線チェック (全員がコース配置次第)

1. 全立哨員が配置完了次第、救護本部から無線所持者へ「ポスト1」から順に無線チェックを行う。
2. 各立哨員は「ポイント番号」「名前」「各ポイントの周辺に異常が無いか」を連絡する。

例) 【救護本部より】1番ポスト聞こえますか？

【ポスト1】はい、こちら1番ポストの〇〇です。周辺に異常はありません。(or 道路に泥が出て来ています。or 葉っぱが道路の一部を覆っています。or 設営されているマットがずれています。など気になる事があれば教えてください)

※無線機で通話を行う際は、PITボタン(通話時に押して話す)を押して、一呼吸置いて通話し始める。PITボタンを押しながら通話し始めると、通話の頭が聞き取れない場合があります。

○設営チェック

1. 道路を規制するためのコーンが、コース脇にセットされているか確認。
2. セットされていない場合のみ【救護本部】へ無線連絡を入れる。

○コース清掃

1. コースを確認し、枝、土の塊、砂利、ゴミetc…、道路に落ちているものを道路脇へ除去します。
2. 清掃が間に合わないなど、異常が発生した場合のみ【救護本部】へ無線連絡を入れる。

※基本的に、コーナポイントのみほうき(ほうきは現地に配備済)で清掃し、それ以外のポイントは葉っぱ・ゴミなどを拾う。

【配置完了】 (8:20)

○配置完了、交通規制準備

コース清掃を完了し、配置ポイントへ移動する。

※コース上に車両がある場合は、8:30より規制が開始されることを声掛けする。

【コース設営開始】 (8:25)

○コース設営

コース上にコーン・コーンバーを配置する。

<注意>

- ・正式な封鎖時間は8時30分からとなるため、コース上を通行する車両は通行させる。
- ・車が通行する分のスペースを空けてコーンを並べる。完全封鎖にはしない。

<重要>

立哨員【全員】

●通行する車両について

◎コースの内側(内部)に進入、または内側(内部)から外に出る車に関しては、1台ずつ止める。

①「8:30~14:30」まで緊急時以外横断ができない旨を伝える。

※万が一、横断をしたいと申し出があった場合は以下の内容を伝える。

②8:30以降も【18⇔19】【22⇔23】【30⇔31】が競技中でも車の横断が可能だが、

十分な安全が確保出来ていない場合は通行ができないため、

状況によっては30分以上待つてもらう場合があることを伝える。

※アローレ横の墓地沿いの道はいつでも通行可能と運転手に必ず伝える。

③立哨1と立哨41の間のポイントで横断箇所を設けています。

立哨1と立哨41で横断を希望されている方がいる場合、

P3に記載されている横断ポイントに案内するようにしてください。

※横断ポイントは立哨では担当しないエリアになります。

【交通規制開始】 (8:30)

○コース設営

- ・コーン・コーンバーを配置し完全に封鎖する。コースに入っている車両がある場合は速やかにコース外側へ誘導する。
- ※本部スタッフがバイクで巡回し、コース封鎖の確認をする。

【試走開始】 (8:45以降)

○試走中 (8:45以降～9:45)

- ①本部でコースのクリアが確認でき次第、試走を開始する。
試走開始の合図は、本部より全立哨員へ無線で連絡。
- ②以下の点に気を付けて試走を管理する。
 - ・観戦者や一般住民の安全を確保し、コース内へ進入しないように管理。
 - ・トラブルが発生したら、競技中と同じ対応を行う。詳細は事項以降参照。

【試走終了】 (9:45)

- ※9:35以降の試走出発を禁止。試走している参加者の最後尾よりバイクが走行し、コースクリアを行う。

【競技直前】

- 本部スタッフがバイクで巡回し、コース封鎖の確認をする。
- ※どうしても横断したい車両がいる場合はこのタイミングで封鎖を一時解除して通行させる。

【競技】 (10:00スタート～14:00終了)

<<競技中の監視方法は次ページ以降参照>>

【競技終了】 (14:00以降～14:30まで)

- *最後尾の選手の後ろからバイクが走行する。

○片付け

- ①規制解除はライダーが全員会場に戻ってから一斉解除とするため、最後尾のバイクが通過しても、規制解除は行わないためコーンとコーンバーはそのままにする。本部石渡より規制解除の一斉連絡が入ったらコーン、コーンバーを撤去して道路脇にまとめる。

(元に戻す)
- ②会場（アローレ）へ備品（無線・旗一式・メガホン）を持って戻ってくる。
※競技中に参加者の落とし物を取得した場合、一緒に持ってくる。

【競技スタートから規制解除まで（10:00～14:30）の業務内容】

- ◆ 沿道監視スタッフは、コース内の立哨ポイントに常駐し、レースの進行を管理する。
- ◆ 事故・落車等、アクシデント発生時には、要救助者の安全確保、救護本部へ無線での連絡を担当する。
- ◆ アクシデントのレベルに応じて、2種の旗を使ってレース参加者を適切な行動に導く。

※無線を所持していない立哨員は、無線を持っている近くの立哨員と連携して救護本部へ連絡する。

基本的には無線所持者から救護本部へ連絡する。

※無線が繋がらない場合は救護本部へ携帯電話で連絡する。

< 増田携帯(090-1550-9149)、高辻携帯(090-1638-3780)>

●コース監視の内容及び安全管理に関して

① レース中のコース内安全管理	
競技中、コース内の安全に気を配り、常に担当エリアの状況を確認する。異常がある際には無線を通じて本部に連絡。	
② レース参加者への注意喚起およびコースへの進入防止	
競技中の選手に対して、担当エリアに応じた注意喚起を声で行い(例:「もうじき左カーブ」等)、事故を未然に防ぐ。また競技中に、観客・休憩中の参加者・地元住民に対し、注意を喚起するとともに、コースへの進入を防ぐ。	
③ アクシデント発生時の対応および連絡	
担当エリア近くで選手の転倒等アクシデントが発生した際の初期対応を行い(自転車をコースの端に寄せる、後続車への注意喚起、旗を振る等)、救護本部への連絡業務を行う。	
④ 選手リタイア時の対応および連絡	
自転車のトラブル等で選手がリタイアする場合のサポート。選手がリタイアする際は、自転車を押してコース左側を通り、大会メイン会場の受付まで来るように伝える。その際に救護本部への連絡業務を行う。	
⑤ 救護車による搬送のサポート	
緊急を要するケガ人、自力で本部に戻れないケガ人などを救護車で搬送する際の安全管理。救護車出動時は、運営統括の指示の下、黄旗を振り、声掛けを通じてレース参加者に「徐行」「追い越し禁止」を周知徹底する。	
⑥ どのような事故でもゼッケン番号を確認	
どのレベルのアクシデントであっても、たとえそのまま再スタートできそうな場合の軽度な事故であっても、選手のゼッケン番号を必ず控えておき、救護本部に連絡する。	

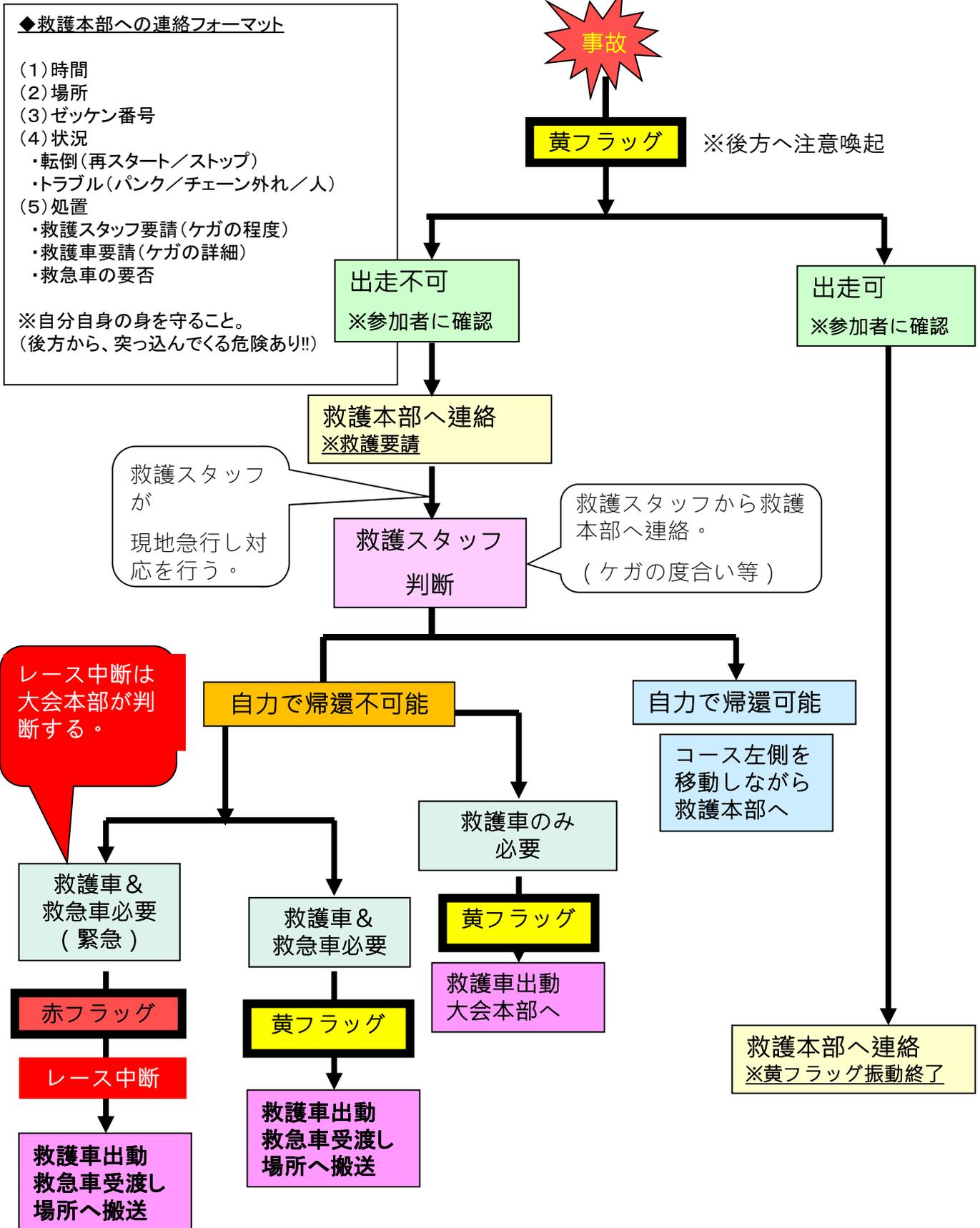
●フラッグを利用した安全管理/レース進行について

フラッグの色	発信するメッセージ	利用シーン	フラッグ利用の判断
黄色	前方注意	・事故等アクシデントがあった場合に、黄色フラッグを振ることでレース参加者に注意を促す。 ・救護車がコースに進入した際、周辺の立哨員がフラッグを振り、参加者に周知する。	各自の判断でフラッグを振るが、状況は逐一統括に無線で連絡する
赤色	停止	アクシデントの発生により、レースを中断、参加者をその場で停車させる際に利用	救護統括の指示で振動 ※各自の判断では絶対に振らない

●ヘルメット、グローブの着用忘れについて

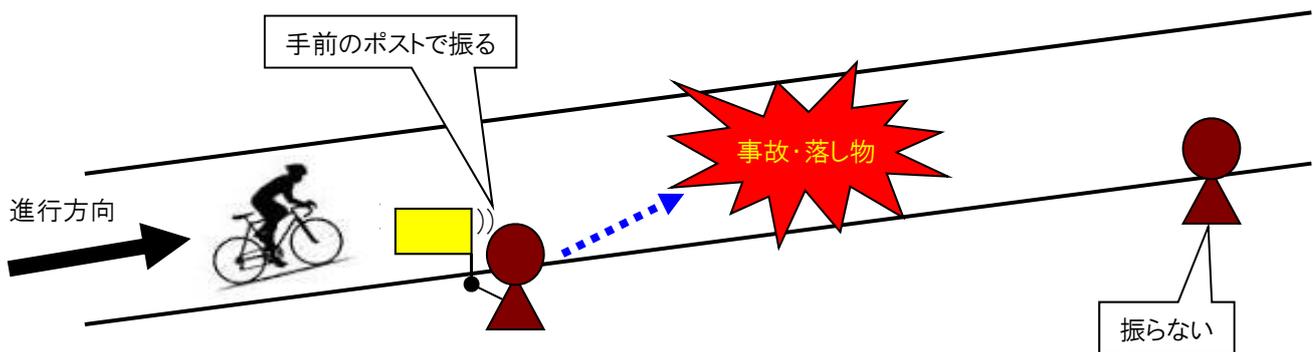
- ◆ レース参加者はヘルメット、グローブの着用が義務付けられているので、着用していない参加者を発見したら、ピットへ戻り、着用するように声をかける。※走行している参加者には大きな声で！
- ◆ ゼッケン番号、性別、特徴等の情報を出来る限り把握し、本部へ報告をする。

●事故対応フロー



●旗の振り方

赤、黄旗の降り方
縦振ります(ライダーから見やすく)。



●コース監視時のポイント

1. 前後ポストの立哨員と意思疎通を図ること。
2. 該当ポスト区間で転倒等があった場合、コースがクリアになるまで黄旗を振動表示し、無線にて【ポスト番号とその前後、時間、ゼッケン番号、状況】を報告する。
例) こちら3番ポストです。3番ポストの手前、12:30にゼッケン1番が落車です。再スタートしました。
※無線を所持していない立哨員は、無線を持っている近くの立哨員と連携して救護本部へ連絡する。基本的には無線所持者から救護本部へ連絡する。
3. 参加者を救助する場合、走行してくる自転車には背中を向けずに対応する。走行してくる自転車を見ないでコース内を動くことは厳禁。

【重要】黄旗の振動について

- ・黄旗を振動させるのは、主に事故発生ポイントの1つ手前のポスト。「この先落車」「この先注意してください」などその場に応じて、注意喚起も同時に行う。
 - ・コースがクリアになるまで、「黄旗の振動」と「注意喚起」を行う。
4. 救護車がコースインする場合は無線による一斉連絡をするので(応答不要)、連絡が届き次第、黄旗を振る。黄旗の振動と同時に、自分のポストの近くに救護車が来るのが見えたら、「救護車通行します。左に寄ってください。」と注意喚起も同時に行う。救護車が通過後、黄旗の振動を終了する。
 5. 転倒、事故等でコース全体がふさがれたり、レース運営責任者が危険と判断した場合は無線による一斉連絡をするので、赤旗を振る。赤旗は各自の判断では出さない。全ての車両を停止させ、その場で待機させる。この際ライダーには「重大な障害が起きたのでレースは一時中断です。詳細が判り次第お伝えします。」と伝える。
※ライダーとの会話は丁寧に！高飛車な態度はトラブルのもと！後程、無線にて詳細情報を連絡するので、ライダーにその内容を伝える。コースがクリアになったら無線で一斉連絡をするので、黄旗振動によりその場から再スタートとなる。黄旗振動による赤旗解除も各自の判断では出さない。
 6. コーナーの手前など、危険と思われる場所ではライダーへ注意喚起を行う。特にコースに慣れるまでの、レース開始時には積極的に行う。
 7. 競技中、コースの横断は基本的には禁止。
万が一横断が必要になったら(緊急で横断しなければいけない人が発生したケース)100%の安全が保たれる(選手間の間隔が十分にひらく)まではコースを横断させてはならない。

●事故対応の例

◎コーナーで1台が転倒、ただし再出走できる

- ・黄旗を表示する。
- ・ライダーに再出走を確認(再出走の意思を確認する前に再出走した場合はこの限りではない)。
- ・救護本部にゼッケン番号を連絡する。

◎コーナーで1台が転倒、ケガ、車両破損等で再出走できない

- ・黄旗を表示し、救護本部に救護スタッフの要請、ゼッケン番号報告、けがの程度報告をする。
- ・救護本部から救護スタッフの現場直行を指示。
- ・救護スタッフが応急処置をする。また、救急スタッフ判断により、「救護車」を救護本部に依頼。
- ・救護車が現場に到着。怪我人を乗せ、救護本部に帰還する。

◎コーナーで10台ほどの集団が転倒、コースが塞がれた

- ・黄旗を表示し、救護本部に救護スタッフの要請、ゼッケン番号報告、けがの程度報告をする。
- ・救護本部から救護スタッフへ現場直行を指示。
- ・救護スタッフが応急処置をする。また、救護スタッフ判断により、「救護車or救急車」を救護本部に依頼。
- ・救護本部から「救護車or救急車」を出動させる。
- ・救護本部は立哨員に黄旗表示を指示。
- ・救護スタッフ、立哨員から救護本部経由で状況を運営責任者に報告する。
- ・運営責任者から救護本部を経由し全立哨員に赤旗の表示を指示。
- ・立哨員から救護本部経由でコースクリアを運営責任者に報告する。
- ・運営責任者が救護本部を経由し全立哨員に赤旗表示解除を指示。

Q 転倒した場合、立哨員はどのようにしたらよいか？

A 原則触れない。ただし、自分で立てない等助けを必要としている場合は状況に応じて対応すること。高価な自転車(100万円以上はざら！)もあるので、自転車にも配慮を。

Q 事故が予測される場所は？

A 3箇所

7番ポスト(下り坂後の左カーブ)6、7番ポストは「減速してください」と大きな声での注意喚起が必要。

17番ポスト(農道入口の左カーブ)。15～17ポストは「減速してください」と大きな声での注意喚起が必要。

40番ポスト(ピット入口)。37～40「ピットインする方は左に寄ってください」と大きな声での注意喚起が必要。

急な進路変更は危険なため、優しい声掛けを心がける。余裕を持ってピットインができるように、37・38ポストの注意喚起は特に重要。

Q 走行中に参加者がドリンクボトルを落としました。どうしたらよいか？

A 落とし物は後続の自転車に対して大変危険。前後の安全を確認し速やかに拾う。

拾った落とし物はその場で保管し、レース終了後に救護本部へ持ってくる。落とし物を取得した際は救護本部へ連絡する。

■ レース中車両横断ポイントの管理方法【18⇔19】

<この業務は18・19のポストが担当する業務です>
ただし他の立哨員の方も横断方法を理解するために、必ず内容を把握して下さい。

【業務内容】

- ◆ 交通規制中(試走・レース)にコースを横断する車両があった場合、18⇔19ポストで横断が可能。(※下図参照)
- ◆ 原則、救急等の緊急を要さない場合は、コースの安全が確認され、立哨員の指示が出るまでは横断出来ない。
- ◆ 18、19ポストから見て、A地点(左コーナー)～コース横断ポイントの間に走者がいない事を確認出来た時のみ、横断が可能。
- ◆ 18、19ポストは、横断する車両を把握した時点で、本部へ無線を入れる。

■ 横断ポイントマップ



■ レース中車両横断ポイントの管理方法【22⇔23】

<この業務は22・23のポストが担当する業務です>
ただし他の立哨員の方も横断方法を理解するために、必ず内容を把握して下さい。

【業務内容】

- ◆ 交通規制中(試走・レース)にコースを横断する車両があった場合、22⇔23ポストで横断が可能。(※下図参照)
- ◆ 原則、救急等の緊急を要さない場合は、コースの安全が確認され、立哨員の指示が出るまでは横断出来ない。
- ◆ 22、23ポストから見て、A地点(赤コーン)～コース横断ポイントの間に走者がいない事を確認出来た時のみ、横断が可能。
- ◆ 22、23ポストは、横断する車両を把握した時点で、本部へ無線を入れる。

■ 横断ポイントマップ



■ レース中車両横断ポイントの管理方法【30⇔31】

<この業務は30・31のポストが担当する業務です>
ただし他の立哨員の方も横断方法を理解するために、必ず内容を把握して下さい。

【業務内容】

- ◆ 交通規制中(試走・レース)にコースを横断する車両があった場合、30⇔31ポストで横断が可能。(※下図参照)
- ◆ 原則、救急等の緊急を要さない場合は、コースの安全が確認され、立哨員の指示が出るまでは横断出来ない。
- ◆ 30、31ポストから見て、A地点(赤コーン)～コース横断ポイントの間に走者がいない事を確認出来た時のみ、横断が可能。
- ◆ 30、31ポストは、横断する車両を把握した時点で、本部へ無線を入れる。

※なおこのポストは柴山町の担当スタッフも常駐します。

■ 横断ポイントマップ



■立哨員配置イメージ ※実際のコーン数は表示のコーンの数とは異なります。



ポスト1・2は車両対応

立哨員1・2



【注意喚起】下り坂注意！
立哨4と連携しフラッグを振る。

立哨員3



立哨4からは立哨1・2・3・5・6まですべて確認できるため、フラッグ等の連絡係として配置

立哨員4



コース監視
立哨4・6と連携しフラッグを振る。

立哨員5



【注意喚起】減速

立哨員6



コース監視

立哨員7



コース監視

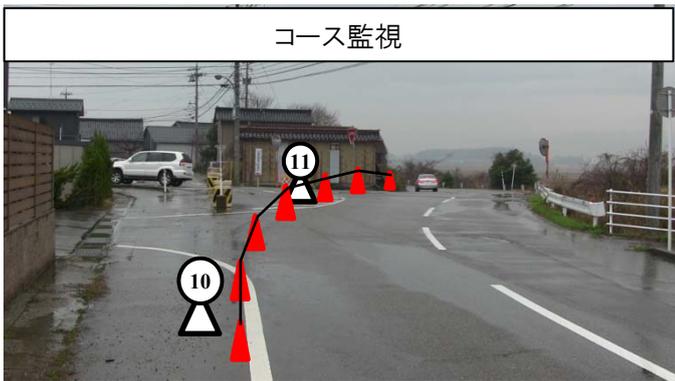
立哨員8



コース監視

立哨員9

■立哨員配置イメージ ※実際のコーン数は表示のコーンの数とは異なります。



立哨員17

立哨員18・19【横断ポイント】

■立哨員配置イメージ ※実際のコーン数は表示のコーンの数とは異なります。



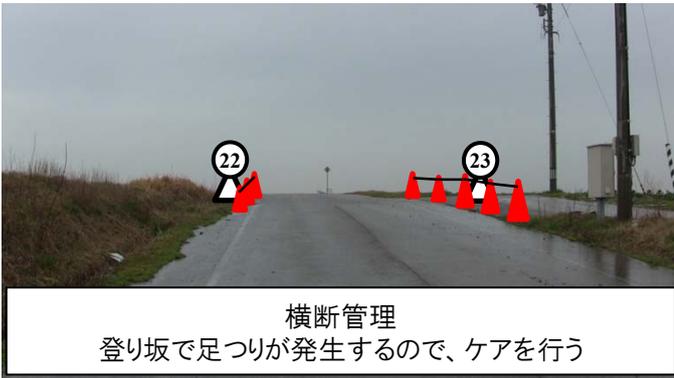
コース監視

立哨員20



コース監視

立哨員21



横断管理
登り坂で足つりが発生するので、ケアを行う

立哨員22・23【横断ポイント】



コース監視

立哨員24



入口・出口はコーンバーで封鎖。ポールの間はコーンのみ設置

立哨員25



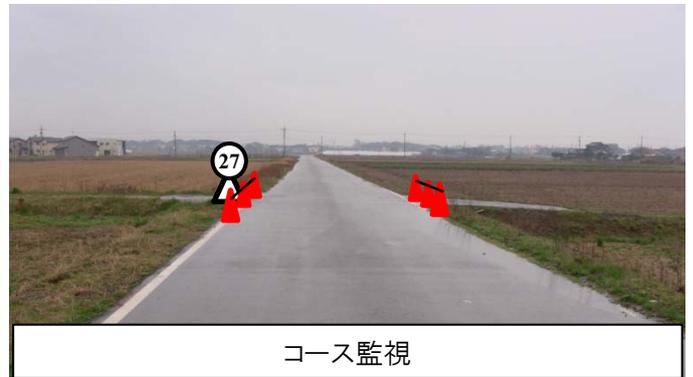
入口・出口はコーンバーで封鎖。ポールの間はコーンのみ設置

立哨員25



コース監視

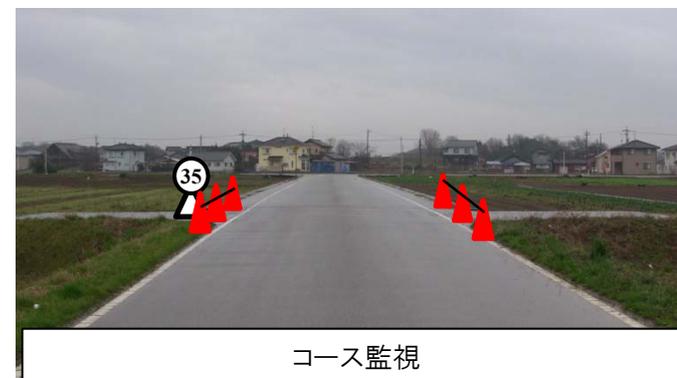
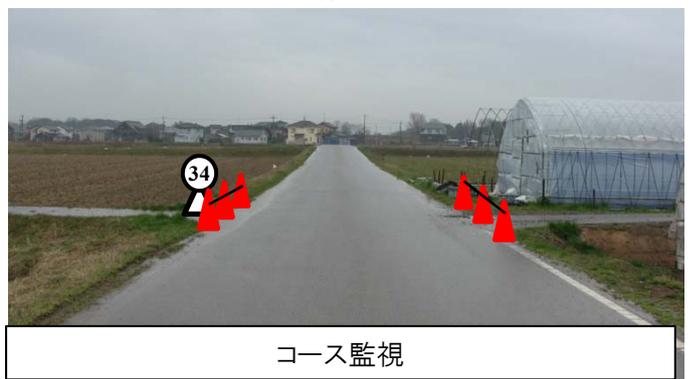
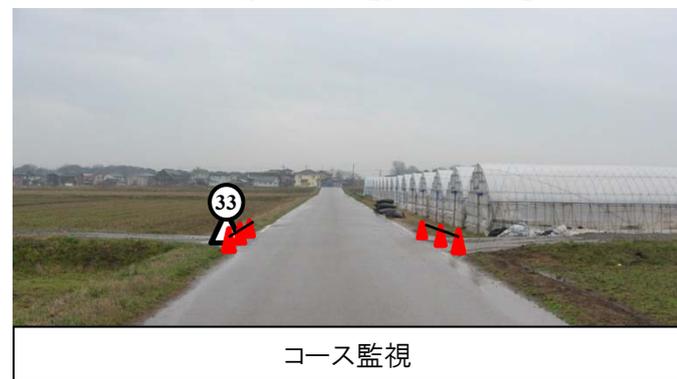
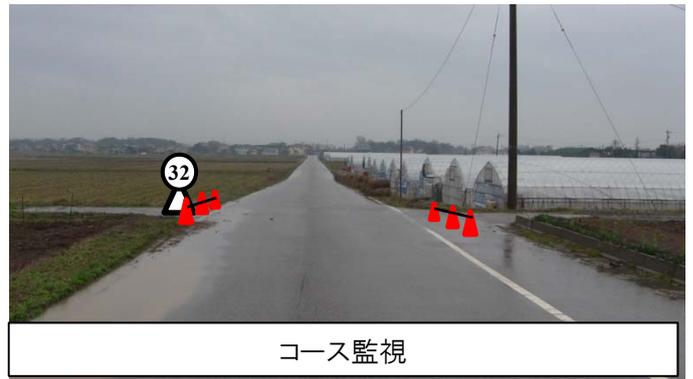
立哨員26



コース監視

立哨員27

■立哨員配置イメージ ※実際のコーン数は表示のコーンの数とは異なります。



■立哨員配置イメージ ※実際のコーン数は表示のコーンの数とは異なります。



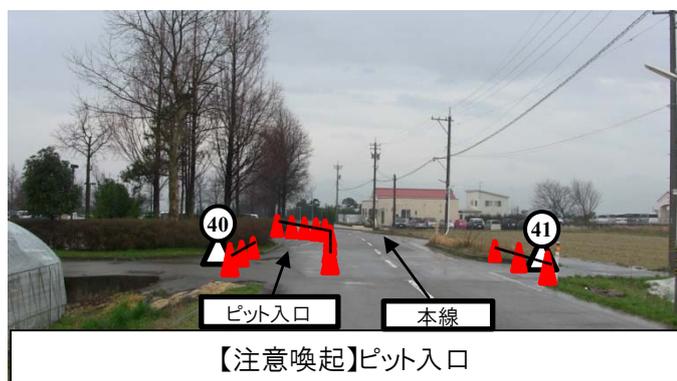
コース監視

立哨員37



【注意喚起】この先ピット入口

立哨員38・39



【注意喚起】ピット入口

立哨員40・41

温泉ライダー in 加賀温泉郷

温泉ライダーin加賀温泉郷2017
ボランティアスタッフの皆様方へ

【駐車場のご案内】

このたびは温泉ライダーin加賀温泉郷2017ボランティアスタッフにお申し込みいただき
篤く御礼を申し上げます。ボランティアスタッフの駐車場につきましてご案内申し上げます。

柴山潟排水機場がボランティアスタッフ駐車場となります。

下記の矢印の入口から進入していただき、奥の方から整列して駐車をお願いします。

尚、誘導整理係員がおりませんので、各自ご注意ください奥側より整列して駐車願います。

駐車禁止区域は赤色コーンにて指示をいたしておりますので駐車しないようお願い致します。

貴重品などは各自お持ちいただきますようお願い致します。



駐車は80台程度可能となっておりますが、できるだけ乗り合わせにてお願い致します。
この場所に駐車いただき、会場へは徒歩にてお越しいただきますようお願い致します。

■ スタッフ控室(アローレ館内図)

【スタッフの皆様】

スタッフ控室に立哨員用のお弁当をご用意しております。
休憩時間にお弁当をお召し上がり下さい。

